

未来の人材を育む低年齢の子ども向け探求型オンライン学習！  
グローバル基準の『オンライン・アフタースクールラーニング』サービス開始！  
～2021年1月より幼稚園・保育園向けサービスの提供開始～  
(2020年12月2日・9日「オンラインイベント」開催！)

1996年の創業以来、グローバル化に適応した低年齢の子ども向け学習プログラムを全国60箇所に提供するラーニングネットワーク（有限会社キャンプリンカーン/本社：千葉県習志野市）は、ウィズ・コロナの新しい学習スタイルとして、低年齢の子ども向けの探求型学習をオンラインで提供するサービス『オンライン・アフタースクールラーニング』を開始します。オンラインでの再現が難しいとされる低年齢の子ども（幼稚園児～小学低学年）向けの探求型学習を実現し、未来のグローバル人材を育成します。

低年齢の子どもたちの探求型学習をオンラインで提供！

コロナによるパンデミックの中、幅広い年代でオンライン教育が実施されてきました。しかしながら、低年齢の子どものオンライン教育は十分な成果をあげているとは言えず、オンライン化が難しいとされる領域です。「幼児は行動することによって学ぶ」という言葉に集約される通り、低年齢の子どもは遊びや探究活動を通して、試行錯誤を重ねながら自ら考え行動することで多くのことを学んでいきます。『オンライン・アフタースクールラーニング』では、対面式授業における豊富な実績に基づき、低年齢の子どもに不可欠な探究活動をオンライン授業に組み込むことに成功しました。双方間のコミュニケーションにより子どもの学習意欲を高め、探究活動を通して意欲的な学習姿勢と創造性を育むことがゴールです。



幼稚園および保育園の正課または課外授業として、外国人講師による「英語で学ぶ体験型の総合学習」をオンラインを通して提供します。オンライン学習に不慣れな幼児期の子どもにとっては、慣れ親しんだ幼稚園や保育園で授業を体験することで、オンライン学習への興味や好奇心を育むとともに、家庭でオンライン学習を継続するためのきっかけ作りの第一歩となります。オンラインを活用することで、グローバル化に対応した探求型・体験型の英語学習を日本中に広く普及しようという新たな試みです。

①幼稚園・保育園へのオンライン授業の提供

正課・課外授業への外国人講師によるオンライン授業の配信（グループ授業）

②家庭へのオンライン学習の提供

家庭への外国人講師によるオンライン授業の配信、家庭学習教材の提供

③オンラインとオンサイトの組み合わせ（ハイブリッド学習）

オンライン授業と対面式授業の組み合わせ、定期的なイベントの開催

## 社会的背景と開発の意図

### ■ 幼児期の探求活動と社会の人材需要

子どもは自ら行動することで創造力を発揮したり、先の見通しを立てたり、期待や目的を持って、遊びや活動を発展させていきます。そうした姿を保育士等や友達に認めてもらうことで、自分とは異なる人の気持ちに気付き、その考えを聞き、更にもう一度自分で考えるようになります。子どもが、様々な遊びや活動の中で、試行錯誤を重ねながら、自分なりにじっくりと考えて行動することができるように、子どもの気持ちに寄り添って保育していくことが大切です（※1）。

経団連は2020年7月、小学校から高校までの教育に「リモート教育」（オンライン授業）ができるような整備を求める第1次提言をまとめました。Society5.0時代の人づくりとして経団連は、デジタル技術を最大限活用しながら、想像力と創造力を発揮して、さまざまな社会課題を解決して、新たな価値を生み出せるようにすることが重要だと位置付けています。最長3か月の長期臨時休校期間中、同時双方向型オンライン指導を実施できた学校は小学校で8%、中学校で10%（文部科学省調べ）にとどまるなど、「諸外国と比べて周回遅れ」なのが現状です。経団連が提案するのは、「オンライン教育と学校での対面形式の教育とのハイブリッドな学習環境の構築による新しい教育様式」です。オンラインによる全国で学校と家庭・学習塾などが機動的に連携した質の高い教育の提供、探究型学習による「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の実施などが重要だとしています（※2）。

低年齢の子どもの探求型・体験型学習をオンラインで実現し、想像力と創造力を発揮して、さまざまな社会課題を解決し、新たな価値を生み出す人材を幼少期から育成することが狙いです。

※1：保育所保育指針解説書（厚生労働省資料）

※2：経団連「Society 5.0に向けて求められる初等中等教育改革 第一次提言～with コロナ時代の教育に求められる取組み～」

## 『オンライン・アフタースクールラーニング』概要

低年齢の子どもたちにとってオンサイト（現場）の教育は欠かせません。担当の先生や教室の仲間たちとの交流、発達段階と興味分野に適した楽しいアクティビティを通して人間の基礎を育む大切な時期です。オンライン・アフタースクールラーニングは、クラスルーム（教室）で行っている授業を、オンラインを通してご家庭で再現し、ウィズ・コロナ時代の子どもたちの「学習機会」の継続を目的としたオンライン学習です。専任の先生だから引き出せる生徒とのコミュニケーションを通して、子どもたちの学習意欲を高め、教室とご家庭をつなぎます。オンラインだけに終始するのではなく、幼稚園や保育園との連携をはかることで、オンサイト（現場）と家庭をオンラインでつなぐ教育サービスです。

### ①グローバル基準の英語総合学習

世界の子どもたちが学んでいる革新的な学習メソッド

### ②オンサイトとオンラインをつなぐ一貫したカリキュラム

子どもの学習意欲を高める毎月のテーマに沿ったアクティビティ

### ③オンサイトの授業をオンラインで再現

教室で行っている授業をご家庭で体験するオンライン学習

### ④専任のティーチャーとの双方間のコミュニケーション

専任の先生だから引き出せる生徒の学習のモチベーション

### ⑤個別対応の学習サポートと魅力的なイベント

日本人講師による学習サポートと季節ごとの各種イベント



## 2020年12月2日・9日「オンラインイベント」開催！

幼稚園および保育園に通園する園児を対象に、外国人ティーチャーとオンラインを通して遊ぶ、1回30分のオンラインイベントを開催します。オンラインに不慣れな低年齢の子ども向けに、オンライン授業の楽しさを体験してもらうことが目的です。ご家庭への配信ではなく、慣れ親しんだ幼稚園および保育園でのグループ授業にご参加いただくオンラインイベントです。

### ● オンラインイベント要項 ●

- ◎期 日 2020年12月2日(水)・9日(水)
- ◎時 間 1回30分のオンラインイベント
- ◎対 象 幼稚園児(年中・年長)～小学3年生
- ◎定 員 1回あたり30名(最小開催人員15名)
- ◎費 用 無 料



### 【会社概要】

ラーニングネットワークは、1996年の創業以来、「熱意あふれる意欲的な学習者を育てる」ことを理念に、アメリカの幼児教育界との強いネットワークの下、グローバル化に適応した幼児教育および学習プログラムの開発を行って参りました。幼児から小学校低学年を対象としたプリスクールやアフタースクールなどの新しい業態を開発する中で、全国60拠点のスクールにおいて5,000名近い子どもたちにプログラムを提供しております。既存の教育機関や学習塾で身につけることが困難な「創造性や自発的な学習姿勢」を育むインフォーマルな教育を通して、未来のグローバル人材を育てたいと考えております。

- 商 号 ラーニングネットワーク(有限会社キャンプリンカーン)
- 本 社 千葉県習志野市谷津1-17-8 SAKビル5階
- 設 立 1996年1月18日
- 代 表 代表取締役 加藤 太郎
- 資 本 金 1,000万円
- U R L <https://www.learningnetwork.co.jp/>



### 【導入ご検討企業様、本件に関するお問い合わせ先】

ラーニングネットワーク  
アフタースクールラーニング事業部 担当：成田(なりた)

Tel: 047-475-3339 (月～金曜日 10:00～17:00)

Mail: [info@afterschool-learning.com](mailto:info@afterschool-learning.com)

URL: <https://www.afterschool-learning.com/>

LP: <https://online-afterschool.net>



このプレスリリースに掲載されているサービス内容および情報は発表日現在の情報であり、時間の経過または諸事情で変更される場合がございますので、予めご了承ください。

### 【本リリースに関するお問い合わせ】

ラーニングネットワーク  
有限会社キャンプリンカーン

広報担当：鷲塚(わしづか) <https://www.learningnetwork.co.jp/>  
275-0026 千葉県習志野市谷津1-17-8 SAKビル5階  
Tel: 047-475-3336 FAX: 047-475-3332  
Mail: ai@learningnetwork.jp